



学校施設等安全点検講習会開催

岩沼西小学校（7月26日）と涌谷高等学校（8月7日）を会場に、学校施設・設備の点検を行う際のポイント等を、講義・フィールドワークにより学ぶ安全点検講習会を開催しました。

講師は、白石工業高等学校、石巻工業高等学校、古川工業高等学校建築科の先生方です。点検をする際の視点やポイント、避難経路として確保すべき廊下の幅や具体的な点検箇所について丁寧に教えていただきました。暑い中でしたが、参加者は熱心にメモを取ったり、積極的に質問をしたりしながら、講師の話に耳を傾けていました。

「学校施設・設備等の安全点検における参考資料・映像ページ」

※講習会で使用した資料等は、下記のリンクからダウンロード・視聴できます。

○スライド資料

<https://www.pref.miyagi.jp/site/gakkou-anzen-bousai/anzenntenken.html>



○映像資料

<https://youtu.be/ij0sVvbblg4>



○「よく分かる！安全点検の映像ページ」

<https://www.pref.miyagi.jp/site/gakkou-anzen-bousai/tenkendouga.html>



【参加者の感想（一部抜粋）】

- 子供たちの目線や視点での安全点検が大切だと思った。日頃から、子供たちがどのような遊びをするのか想像しながら点検を行っていきたい。
- 廊下は、避難経路であるということを改めて認識し、しっかりと確保しなければいけない。また、危険箇所にロープを張ったら、注意喚起の表示をすることも重要だと感じた。
- 何気なく廊下に物を置いてしまっていた。点検は、多くの目で見る、記録に残すことが大切だと思った。
- 点検の最大の敵は、慣れと日常化。安全点検を固定して行っていたので、工夫して行いたい。

参考 学校安全職員だより【安全点検】（文部科学省 HP より）

HPでは、「消費者安全調査委員会（R5.3.3）の報告書から、**緊急的な対策が必要とされた場所について解説しています。**」

「教室の窓からの転落」や「固定されず積み重ねられたロッカー」など、学校の施設又は設備に起因して発生した児童生徒等が死亡した事故等について記載されていますので、併せて御覧ください。



他にも死亡事故の発生可能性のある箇所として、

固定されず積み重ねられたロッカー等があります。

扉を開けた際に積み重ねた上の棚が倒れたり落ちたりし、顔面などが押しつぶされたり、後ろに倒れて頭を打ったりして、死亡事故につながる可能性があります。

消費者安全調査委員会（R5.3.3）の報告書の詳細はこちら→

https://www.csa.go.jp/policies/council/csk/report/report_019/



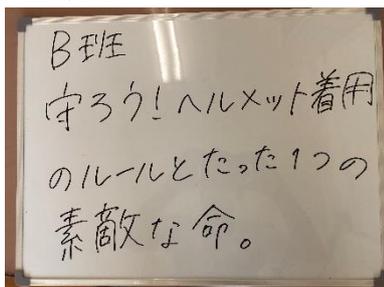
高校生のクリエイティブな発想で、 安全な社会をつくろう



— みやぎ高校生サイクルサミット2023 —

自転車の交通事故防止と交通ルール・マナー向上を図るため、高校生が主体的に取り組んでいる活動について情報を共有するとともに、その効果的な実践と今後の課題等について話し合いを行いました。県内17校から生徒が集まり、グループワークでは、自転車乗用ヘルメットの着用促進と自転車事故防止に向けた啓発メッセージを考えました。高校生ならではの柔軟な発想から、クリエイティブな意見がたくさん出され、活発な議論が展開されました。

<グループワークの様子>



<講話：県警交通企画課より>



<自転車シミュレータ体験>

自転車を運転する際に起こり得る危険性を学習できる「自転車シミュレータ」の体験会が行われました。実際に自転車を運転している感覚になり、自転車乗用時のルールとマナーや危険予測の学習ができるシミュレータです。

県警察本部では、自転車シミュレータの活用による交通安全教室や体験会を行っています。各校で活用を希望する場合には、管轄の警察署までお問い合わせください。



「スクールガード養成講習会」(柴田町)での取組

本講習会は、学校や通学路で子供たちを見守るスクールガード(学校安全ボランティア)の資質向上を目的とし実施しています。

講習会では、本課担当者による安全体制整備に関する説明に加え、大河原警察署から講師を招き、「見守りのポイントや子供との接し方」等について講話をいただいたほか、参加者による情報交換会(通学路の危険箇所の共有)が行われました。

<期日・場所>

令和5年8月23日(水) 柴田町役場

<当日の参加者(44名)>

柴田町教育委員会担当者 大河原警察署
学校担当者 PTA 見守り隊
スクールガード・リーダー 保健体育安全課

<情報交換会の内容>

- 通学路の危険箇所を付箋に書き出し、学区の地図上に張り出し、危険箇所について共有する。
- 参加者から情報提供があった危険箇所を教育委員会が集約し、秋に開催予定の「通学路合同点検」において、関係機関等が連携して確認する。
- 昨年度の講習会で情報提供があった危険箇所(改善済み)について、参加者で改めて確認の上、共有した。

